

吉田病院広報誌

すこやか

第15回医学講演会報告

- 01 理事長挨拶
- 02 先生方にインタビュー
- 03 統括事務部長の報告
- 04 慶友会だからできた事

2017.10 vol 60

「人間ドック医学講演会」が開催されました



(写真左 吉田良子理事長 右 篠原幸人理事長)

この度、平成29年8月5日(土)旭川グランドホテルにて開催された人間ドック講演会「生活習慣病としての脳卒中・認知症」は955名の参加を頂き盛況のうちに終了することができました。ご参加いただきました皆様、そしてご講演していただきました篠原幸人先生にお礼申し上げます。

人間ドック

講演会特集



「心ある医療」を

掲げる慶友会

医療法人社団慶友会

社会福祉法人慶友会 吉田 良子理事長

講演会の冒頭より吉田良子理事長よりご挨拶がありましたのでここで紹介させていただきます。

皆様、本日はお暑い中、こうして多くの方々にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。やはり健康や予防というものに対する皆様の「意識の高さのあらわれ」なのだろうと改めて思います。

本日の講演テーマである「生活習慣病としての脳卒中、認知症」は、まさにこれからの予防医療の核心であり、注目の課題だと思えます。そしてこの講演会に、もっともふさわしい、この分野のオーソリティをお招きいたしました。

本日、講演をいただく篠原幸人先生は、これまで脳卒中を専門とされ、その予防・診断・治療に身を尽くされ、脳卒中学会理事長も歴任されております。そして昨年からは、予防医療の核となる「人間ドック学会」の理事長に就任されました。実は篠原幸人先生と、私共慶友会吉田病院は、とても不思議なご縁があると思っています。まず、篠原先生と慶友会の前理事長である吉田威は、慶應大学医学部の同門であります。そして慶友会は、2011年に吉田威の悲願であった「人間ドック学会」学術大会を、この地旭川で開催するという大役をいただき、学会長を務めさせていただきました。こうした「人間ドック学会」が取り持つ縁もまたその一つです。

私は、いつかは人間ドックの講演会を開催したいと考えていました。その時には、どなたに講演をお願いしようかと案じていました。あるとき、篠原先生にお会いする機会がありまして、その際にご相談をしたところ、理事長ご自身が、この講演を引き受けてくださるとのお話をいただきました。本当にうれしかったです。この場を借りてあらためて感謝を申し上げます。健康は私達に与えられた財産です。そして予防医療は、私達の日常生活の管理を促すとても大切な医療なのです。予防医療を、より本質的な意味で旭川に浸透させたい。健康都市あさひかわの実現に向けて率先して行動していきたい。今回の講演会を開催する理由はそこにあります。予防医療に携わるものとして、そして、「心ある医療」を掲げる慶友会にとって、これは一大使命なのだと確信しています。

本日の講演を通して皆様が、ご自身やご自分の大切な方の健康という財産をしっかり管理していく一助になれば、本講演の意義は十分にあったといえます。今後も慶友会が、皆様の健康に貢献することを誓って、ご挨拶とさせていただきます。



講演会を終えてみての感想。



吉田病院病院長 / 健康相談センター長 **横田 欽一** 先生

私は座長を担当しました。一次性の生活習慣病である高血圧や糖尿病または心房細動等の基礎疾患をベースに発症する脳卒中、それに関連する認知症の発症について分かりやすくお話しいただきました。その予防には一次性生活習慣病にならない、あるいはコントロールを良くすることが大事であることを学びました。

篠原先生の帰りの時間まで余裕がなかったため、終了時刻を守る必要がありました。このため、各挨拶、講師紹介、ご講演とも早め早めに進行させてしまい、30分以上の討論時間ができてしまいました。会場からの活発な質問と、篠原先生の4冊の本を読んでおいたことが役立ち、ちょうど予定時間に終了できました。座長の任を果たすことができホッとしています。



副院長 / 病棟部長 / 在宅医療福祉センター長 **馬場 勝義** 先生

日本人間ドック学会 篠原幸人理事長の講演会は、市民講座にふさわしい誰もがわかりやすいものでした。篠原先生が「1000名近くもの前で行った市民講座は記憶にない」と話されたように、たくさんの方が先生の講演を熱心に聞いていたのが印象的でした。

副題の「人間ドック・脳ドックはその予防に役立つか」は先生の講演で明白になりました。人間ドックの重要性が浸透したと思います。多くの方が質問されるなか、私も関心の高い「認知症」について質問したところ、先生から明確な回答をいただきました。

市民講座の成功の秘訣は、今回のように皆が興味をもつテーマと、それにふさわしい講師を選択し、そしてなにより慶友会が一致団結すること。今回もそれを遺憾なく発揮しました。関係者各所にあらためて謝意を申し上げます。来年の講演会が本当に待ち遠しいです。



医局長 **武田 寛樹** 先生

「認知症」というタイムリーな話題が含まれたテーマだったので、相当の数の一般聴衆参加が見込まれるものと期待はしていましたが、実際はどうなるだろうと一抹の不安がありました。開会してみると予想以上の聴衆（慶友会関連職員の参加を差し引いても多くの一般聴衆の参加があったのは事実）で、とてもテンションが上がりました。また、われわれ仲間（職員）の手際のよい活動ぶりには本当に頭が下がる思いでした。篠原先生の優しく、わかりやすい講演は誰もが満足されたことと思います。講演を終えて、とても達成感がありました。

また、自分の外来担当者さんが、篠原先生にセカンドピニオンを求めて発言した時は、冷や汗ものでしたが、ここでも篠原先生に“神対応”していただいてホットしたのも、今となってはちょっとしたエピソードになったかなと思います。一般の方々に医療・健康について情報発信を続けることは、われわれ健康創造を担う者の使命であると再認識できました。



慶友会 だからできたこと

第15回を迎えた今回の慶友会グループ医学講演会は、日本人間ドック学会理事長篠原幸人先生をお迎えし、健康・予防に重点を置いた貴重な講演を行っていただきました。どのような形で講演を開催するのがベストなのか、いつもとは違う、そしてより良い成果を出すためにはどうしたら良いか、そのような思いから打合せが始まりました。

各担当グループを決め、①分刻みの講演会全体のタイムスケジュール管理・調整 ②講演を行う座席位置、マイク位置等ステージの進行管理 ③メディアカルチェックブースの実行内容 ④プレ動画の詳細作成 ⑤配車手配・運行スケジュール管理 ⑥集客に関するのCM、ポスター、チラシの構成等々限られた時間の中で、試行錯誤を繰り返しながらも、内容の濃い細かな打合せを行っていききました。そして、力を合わせ必ず成功させようという強い気持ちで当日に臨み、結果は、955名の参加をいただき、大盛況のうちに終了する事が出来ました。参加いただいた皆様に、慶友会が掲げる「健康創造の支援活動」の理念を少しでも示す事が出来たのではないのでしょうか。また、職員一人一人の行動力・企画力・団結力等の素晴らしさを改めて認識するとともに、培われた慶友会マインドを、確認する事が出来ました。

ご講演いただきました篠原幸人先生、そして講演会のために尽力された職員の方々に、心からお礼申し上げます。



統括事務部長

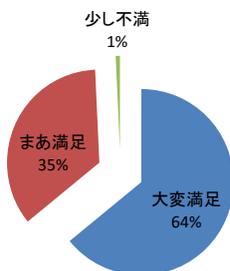
富樫 次敬

アンケート結果

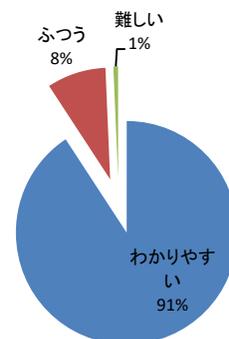
講演会のアンケートでは、「大変満足」または「まあ満足」の回答が99%と大変多くかつ、内容がわかりやすいと91%の方に回答が得られました。人間ドックを今後、受けたいかという設問では「はい」の回答が86%と高い状況でした。関心が高まった検査で最も多かったのは脳MRIで32.6%、生活習慣病からの動脈硬化だけでなく、北海道に多い、がんの検査16.5%やリスク検査10.9%にも関心を寄せていただきました。

参加した皆さまから回答いただきましたアンケートの内容を参考にさせていただき、人間ドックをはじめ、健康相談センターの検査等の充実に努めてまいります。

満足度



内容理解



特集

今回の講演会の成功の裏には、陰で支える裏方さん（職員）が沢山いました。皆、講演会の成功を願い一丸となって事前準備を行ってきております。中でも、メインで動いていた職員を紹介いたします。



看護部長
林 恵子

地域の方々の健康を守るために、一人でも多くの方に講話を聴いて頂きたいと願い、職員が綿密な計画のもと、総力を挙げて運営に当たりました。当日も職員一人ひとり真心を込めて対応し、目的を達成したと思います。改めて慶友会グループ職員の結束力の強さを感じました。



健康相談センター
人間ドック課 課長
賀木 孝一

大盛況の講演会となり、大変嬉しく思っています。特に多くの地域の皆様にご参加いただいたことは、慶友会としての今後の地域貢献活動の励みになります。ご尽力を賜りました協力会社様に感謝申し上げます。



健康サポート室 室長
齋藤 美智恵

今回の講演会では主に受付・会場係を他にプレ動画と広報、体験ブースを担当させていただきました。取り組み始めた時期は不安でしたが、多くの職員の協力があったて大盛況な結果となり、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



人間ドック課 課長
樫山 俊春

たくさんの方に今回の講演会を知って頂くため様々な手段で広報活動をして参りました。準備段階での多少のトラブルもチームワークで乗り切り、当日は955名という多くの方に参加頂き無事に開催できた事をとて嬉しく思います。



情報システム課 主任
上島 亮

講演前動画で、慶友会の「予防医療への思い」を歴史紹介、健康相談センター紹介を通じて表現しました。人間ドックの検査紹介では、「どのような検査がどのようながん発見につながるか」を伝えられたかと思えます。

外来診療担当医師シフト表

平成 29 年 10 月現在

	診療科目	月	火	水	木	金	土
午前	一般内科	府川・山崎・早崎	馬場・照井	府川・村中・早崎	馬場・川原・照井	馬場・村中	担当医師 【交代制】
	消化器内科	院長 横田 欽一	院長 横田 欽一	院長 横田 欽一		院長 横田 欽一	
	呼吸器内科	山本 泰司 (旭川医大)	大崎 能伸 (旭川医大教授)	佐々木 高明 (旭川医大)	奥村 俊介 (旭川医大)	吉田 遼平 (旭川医大)	
	循環器内科	武田 寛樹		武田 寛樹	武田 寛樹	佐藤 伸之 (旭川医大教授)	
	腎臓内科	石黒 俊哉	石黒 俊哉				
	肝臓病センター		岡田 充巧 (旭川医大)		松野 直徒 (旭川医大) (外)		
	糖尿病・生活習慣病センター		岡田 瑞穂	岡田・※1赤井	岡田 瑞穂	岡田 瑞穂	
	泌尿器科	佐藤 英次	泌尿器科専門医	佐藤 英次		佐藤 英次	
	整形外科	井上 謙一	慶応大学出張医	井上 謙一	井上 謙一	井上 謙一	
	外科					山崎 弘貴	
	リハビリテーション外来 9:00~12:00				リハビリ専門医 (旭川医大)		
	眼科					旭川医大出張医	
	内視鏡検査	林・村中	林・赤井 (隔週) 峯松	林・峯松	林・峯松	林・※2峯松	院長 横田・村中 ※2峯松・担当医師
歯科・歯科口腔外科 (毎月第1、3土曜日休診)	小西 文	小西 文	松田(北海道大)・小西	小西 文	小西 文	小西 文	
午後	一般内科 前半 13:30~15:30	岡田 瑞穂	早崎	村中 茂人	(交代) 峯松 秀樹	川原 (旭川医大) 松野 (旭川医大)	(交代制) 山崎・峯松
	一般内科 後半 15:30~17:30	横田 崇			横田 崇	早崎	村中 茂人
	循環器内科			武田 寛樹			
	内分泌・膠原病外来					※4 府川 悦士	※4 府川 悦士
	糖尿病・生活習慣病センター					※1※5 赤井 祐一	
	泌尿器科			佐藤 英次		佐藤 英次	
	整形外科	※4 井上 謙一		慶応大学出張医	※4 井上 謙一	※4 井上 謙一	※4 井上 謙一
	緩和ケア外来 13:30~15:30			※3 照井 浩也			
	内視鏡検査			※1 赤井 祐一			
歯科・歯科口腔外科	小西 文	小西 文	松田(北海道大)・小西	小西 文	小西 文		

休診

■ 専門外来 (非常勤医師)

	診療科目	曜日	担当医師
午前	甲状腺外来 (第4土曜日予約制)	土	島袋 嘉修
	漢方外来 (不定期予約制)	木・金	早崎 知幸
	臨床遺伝外来 (月2回予約制)	金	蒔田 芳男 (旭川医大教授)
	ラベンダー外来	木	旭川医大出張医
午後	メンタルヘルス/睡眠外来 (予約制)	月	千葉 茂 (旭川医大教授)
	漢方外来 (不定期予約制)	木・金	早崎 知幸
	乳腺外来 (月2回予約制)	金	北田 正博 (旭川医大教授)
	臨床遺伝外来 (月2回予約制)	金	蒔田 芳男 (旭川医大教授)

※ 専門外来は予約制となっております。

- ※1 赤井医師は毎月第1、3、5週の勤務になります
- ※2 峯松医師は金曜、土曜不在の場合が有ります
- ※3 診察は予約制となります
- ※4 受付は16:30までとなります
- ※5 診察は14:30までとなります

診療受付時間【平日】 08:00~12:00
13:00~17:00
【土曜日】 08:00~12:30

※日曜、祝日、年末年始(12/30~1/3)、お盆(8/15)はお休みです。

※医師の都合及び診療科により診察時間が異なりますので、受診の際には事前にお問合せください。

〒070-0054 旭川市4条西4丁目1-2

TEL 0166-25-1115 FAX 0166-25-4650



医療法人社団 慶友会
吉田病院

発行日 2017/10/2